

ミニぞうりストラップ

かつて交通の要所として栄えた御殿場では、旅人の足となるぞうりやわらじづくりが盛んでした。麻ひもを使うことでストラップサイズのミニぞうりが作れます。

場所	研修室	対象	小学校4年生以上
所要時間	片足： 45分～1時間	人数	制限なし
時期	全シーズン	天候	制限なし (雨天時のみも可)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



室内での活動

活動の 教育的効果	(1) 麻ひもを手順に従って編んでいくことで、ぞうりづくりのスキルを身に付けることができる。 (2) ぞうりづくりの際に、仲間とコミュニケーションをとり、教え合う等の活動を通して、協調性を養うことができる。 (3) ぞうりが完成することで、達成感を味わうことができる。
準備 するもの	団体が準備するもの
	☐ 麻ひも（片足分：約2m）※綿製の毛糸での代用も可能
	交流の家が貸し出すもの
	☐ ヘアピン（1人1本） ☐ クリップ（1人3個）※セロテープでも可 ☐ 作成行程の説明パネル
備考	☐ 作り方はホームページよりダウンロードが可能。 ☐ 作業工程が複雑なため、公式YouTubeチャンネルにて作り方を動画で確認することを推奨。 https://youtu.be/UHNkjk6IHcE

活動の流れ

ミニぞうりストラップ

活動内容 (手順)	時 間	項 目	内 容	備 考
	事前	安全指導	□麻ひもを扱うことについての指導。	
	15 分	準備	□ぞうりと富士山の関係について説明する。 □麻ひも（片足分）を1m/50cm/10cmに分けて準備する。	
	60～90 分	作成	□芯縄に横ひもをかけて2回巻き付ける。 □横ひもを編み込んでいく。 □途中で、鼻緒になる部分を編み込む。 □横ひもの編み込みが終わったところで、芯縄の2本を手前に引き、形を整える。	
	15 分	片付け	□麻ひもの切りくず等のゴミを掃除する。 □物品を事務室に返却する。	
想定される リスク	□けが（ひもによる引っ掛かり転倒、ひもが肌に触れた際に擦れる） □繊維によるアレルギー反応の可能性			
指導の バリエーション	□麻ひもではなく、太いひも（PE ロープ等）や布（ひも状にして使用）を用いることで、実寸大のぞうりを作ることができる（この場合、材料となるひもがより長く必要になる）。			

室内での活動



御殿場と大わらじについて
御殿場わらじ大祭りホームページ「わらじ祭りの由来」

<https://www.gotemba-waraji.com/yurai/index.html>

（最終閲覧日：令和6年12月1日）